



ロータリーは機会の扉を開く

会報

2020 ▶ 2021
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

60年の歴史に敬意と感謝を そして、これから100年に 向けての礎を築こう!

会長/辻本 哲也 幹事/燕 美雪

プログラム

(第7号・第8号)合併号

- 本日
「移動夜間例会」
- 次週予定
来賓卓話
留萌市地区戦略担当理事 渡辺 稔之氏

No. 2872

第7回 8月26日

出席報告

前例会

会員総数……………27名
出免会員……………3名
出免出席……………3名
基準会員出席……………24名
出席率……………88.88%

前々例会

第5回 8月5日

欠席会員……………16名
内メイクアップ……………8名
修正出席率……………70.37%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告 ……………

1. 本日午前10時より、会長幹事会を開催いたしました。出席者は福井ガバナー、澁谷ガバナー補佐、和田地区幹事、佐々木ガバナー補佐室長、留萌クラブより私と高橋エレクト、燕幹事が急遽欠席のため串橋副会長と武田副幹事の8名にて開催。その後、11時よりクラブ協議会を開催して活動方針、活動計画の説明をした後、福井ガバナーに総評をいただきました。
2. 本日午後5時30分より、礼受牧場にてガバナー歓迎会を開催いたします。親睦委員会の皆さんよろしくお祈りします。
3. 8月20日13時より、留萌市中央公民館講堂にて令和2年度留萌市平和記念式典が開催され、私が皆さんを代表して出席して参ります。
4. 前回ご協力いただいた、熊本豪雨義援金は

21,000円になり、8月7日送金を完了いたしました。ありがとうございました。

📁 幹事報告 ……………

- 羽幌RCより7月会報と8月例会案内、1019~2020年度事業報告書を受領しました。
- 深川RCより退任就任挨拶、並びに6月7月会報と活動計画書を受領しました。
- 赤平RCより8月例会案内、活動計画書並びに7月会報を受領しました。
- 2020~2021年度国際ロータリー第2510地区、地区ローターアクト委員会より、第33回全国ローターアクト研修会の協賛金の礼状をいただきました。
- 次週例会は通常夜間例会としてホテル神居岩にて午後6時30分点鐘で開催いたします。お間違え無いように。

第6回 8月19日(水) 天候/晴

- 本日例会終了後にガバナーとの記念撮影をいたしますので、宜しくお願いいたします。

ゲスト

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 福井 敬悟様

第1グループ ガバナー補佐 澁谷 賢治様

ビジター

国際ロータリー第2510地区

地区幹事 和田 敬友様

ガバナー補佐室長 佐々木弘有様

札幌北RC 吉井 千博様

- 福井ガバナー、澁谷ガバナー補佐、ようこそ留萌クラブへ。本日はよろしくお祈いします。

串橋副会長

- 福井ガバナー、ようこそ留萌へ。武田副幹事
- ガバナー、ようこそ留萌へお越しくださいました。今日は1日よろしくお祈いします。

田中(卓)会員

- 福井ガバナー、ようこそ留萌クラブへ。

福士直前会長

- 福井ガバナー、関係者の皆様ようこそ留萌へ。

関野会員

- 福井ガバナー、ようこそ留萌へいらっしやいましてありがとうございます。本日はよろしくお祈いします。

青山会員

前 回 206,000円

今 回 21,000円

累 計 227,000円

委員会報告

親睦活動委員会 西谷委員長

本日午後5時30分より福井ガバナー歓迎会を礼受牧場にて開催いたします。送迎バスを出しますので、バス利用の方は遅れずをお願いします。5時ホテル神居岩出発、5時10分渡部整形前、12分信金本店前、15分産業会館前、20分沖見町バス停、その後礼受牧場に入ります。5時30分開始となっておりますので、時間に遅れないようにお願いします。服装はラフな格好で参加下さい。会費は会場にて集めますのでよろしくお願いします。5000円となっております。領収書も用意しております。よろしくお願いします。

ニコニコBOX

- 本日はよろしくお祈いします。 福井ガバナー
- 本日はよろしくお祈いします。 澁谷ガバナー補佐
- ガバナー公式訪問に同行させていただきました。母のルーツである留萌のRC例会に参加できてニコニコです。 吉井会員
- 福井ガバナー、澁谷ガバナー補佐、和田地区幹事、佐々木ガバナー補佐室長、吉井千博さん、ようこそ留萌へ歓迎いたします。 辻本会長
- 福井ガバナー、ようこそ留萌クラブへ。 高橋エレクト

プログラム

「ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 福井 敬悟様

初めましてと言うよりも、先ほど会長幹事会、クラブ協議会を通してお会いしている方が多くいらっしやいます。私のロータリー歴の紹介をしていただき、改めて2000年に会長になった事を思い出しました。その後、2010年から2011年にガバナー補佐をやらされて、今回の2020年～2021年度にガバナーを引き受ける事になり、10年ごとに色々な事が起きている感じです。先ほど60周年の話がありましたが、50周年の時はどうだったとか、色々良い事ばかりあれば良いのですが今年は大変な年で、こんなことに負けてはいられないと気持ちを入れ替えて、70歳で私もガバナーになりましたので、気持ちを入れ替えて頑張っていこうと思っております。今年1年お付き合いをよろしくお祈いいたします。また、本日の夜の歓迎会も楽しみにしております。

今年は何と言っても、地区もクラブもコロナ一色で波乱に満ちた1年となっております。本来ならば、日本のロータリー100周年を祝おうと楽しみな1年になるはずだったのが、私ガ

バナーになるべく、アメリカサンディエゴの国際協議会研修から帰ってくると、1月末から中国武漢での新型コロナウイルス発症という問題が起こり、瞬く間に全世界に広がってしまいました。地区においても例年行われているベッツや地区研修協議会が中止になり、DVDによる配信で研修をしていただくという、本日見えている吉井くんにも大変お世話になって、最初に作ったDVDを作ったメンバーでして、今までには無かった事を考えて、DVDを作成しました。ただ、DVDは作ってしまうとなかなか修正が利かない所が悪い所で、そんな事を思いながら試行錯誤を繰り返しました。昔からありましたが、建築家になりたいではないですが、やはり建築と言えば、設計図を書かなければなりません。仕事に於いても段取りが80%で、実際の仕事が20%だと言われますので、その段取りが今年は十分出来ませんでしたので、非常に残念でなりません。私自身ガバナーノミニーからガバナーエレクトになり、これから皆さんの前で話す事が出来るなと思っていた矢先にコロナ騒動です。ノミニーの場合は殆ど話す事が無く、締めの挨拶しかしたことがありませんでした。大体飲んだ後の締めの挨拶が殆どでした。エレクトになって漸く皆さんの前で話せるなと思った場所が無くなり、今回ガバナー公式訪問で20回目のお話をする場所を与えられ、少し緊張をしております。20ヶ所を回っても緊張しておりますが、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

ご紹介が遅れましたが、本日いっしょに訪問させていただいた、地区幹事の和田敬友三ですが、道会議員を9期もやっている方で、私と同期のロータリー歴を持っております。本日は昨日買ったばかりのパソコンを持って来まして、パワーポイントを操作していただきますが、非常に心配している所でございます。まずは地区大会延期の話ですが、先ほども少しお話が出ていたのですが、来年の5月15日～16日に地区大会を開催、17日に小樽カントリークラブにて記念ゴルフ大会を開催したいと思います。パストガバナーには怒られるかもしれませんが、地区大会はダメでもゴルフ大会だけは懇親の意味を含めてやりたいなと思っております。表彰式は従来通り出来ないかもしれませんが、ゴルフ大

会はやりたいなと思っております。皆さん是非スケジュールを空けておいて下さい。

地区では、本年度から地区のホームページをリニューアルいたしました。ロータリー2510地区と検索していただければ、地区のホームページが出てきます。7月26日に開催された会員増強セミナーも動画で皆さんが見る事が出来るようになっております。各委員会報告等もクリックする事により色々な資料もダウンロードできるようになっております。職業奉仕委員会に於いては「職業奉仕について」という資料も載っておりますので、ぜひダウンロードしていただきたいと思っております。また先般行われたベッツや地区協も動画で見ることが出来ます。ガバナー月信も見やすいように体裁を変えました。早速8月号が出ていますので、是非ご覧下さい。

それでは限られた時間ですので、3つのポイントに絞って説明をさせていただきます。1番目R I 会長テーマ、2番目地区奉仕、3番目が回復力についての話です。

私は1月19日～25日、ガバナーになるべくサンディエゴの国際協議会に参加して参りました。世界539地区から日本34地区、約1500名の参加で、サンディエゴで開催される国際協議会は15年続きましたが、今年で最後となります。次年度からはアメリカオランダで開催される事が決まっております。R L I 方式での研修が5日間、朝から晩まで夫婦共々ホテル缶詰で行われました。以前は、入りにて学び、出でて奉仕でしたが、最近はより強く学び、より強く行動する事が求められるようになりました。会議はテーマが決められ、R L I 方式で討議が行われました。研修後の記念撮影では、同期には3名の女性ガバナーがおり、その内の2名が一緒の参加となっております。昨年よりロータリーの国際協議会にローターアクターが参加する事になっており、日本から4名のアクターが参加しております。今年度の交流会は男性はタキシード着用で、とんでもない年になったなと新調。三越へ行って20万円の散財をしてしまいました。1回しか着る事が無いと思われるタキシードです。そのタキシードを着ての写真撮影でしたが、中央にいる方が新しいゾーン2の辰野克彦理事です。もう1つの写真が皆で浴衣を着ての写真撮

第6回 8月19日(水) 天候/晴

影で、交流会での一コマです。せっかく来たので1泊伸ばして市内観光をしましたが、ホテルを出た所でホルガー・クナークRI会長夫妻に会いまして、写真撮影をさせていただきました。とっても気さくな笑顔の素敵な方でした。

今年度RI会長のクナーク氏の会長テーマは「ロータリーは機会の扉を開く」で機会と聞けばチャンスという言葉が浮かびますが、チャンスは偶然の好奇ですが、オプチュニティズは自分で引き寄せた必然性の言葉です。先ほどピンチをチャンスに変えてと言いましたけど、英語的にはまさにオプチュニティズであり、ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すため、世界を旅する機関。そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれるのです。この機会を捉えて、ロータリーを成長させ、より強く適応力を高め、中核的価値観に寄り添ったロータリーになるのです。

さて、中核的価値観とは親睦・高潔性・多様性・リーダーシップ・奉仕の5つを指しています。我々ロータリアンはクラブでの親睦を通じて笑顔になり、高潔性を持ち、多様性を受けられる寛容さを持ち、リーダーシップを発揮して日々奉仕活動を実践していきましょうと私は理解しております。そんな思いから、地区の目標方針を「守・破・離の心で、初心を忘れず。変化を恐れず、希望の扉を開きましょう」といたしました。そして地区目標は「日本のロータリー100周年を祝おう」とし、これからの100年に向けて、①IT活用の推進と公共イメージの向上。②会員基盤の強化。③1クラブ1プロジェクト

の推進。④ロータリーファミリーへの支援と、学友との連携強化。⑤クラブ戦略計画の作成に期待。とさせていただきます。これらについては先ほどクラブ協議会でもお話をさせていただきました。また数値目標として、ロータリークラブカードの推進、ロータリー財団寄付。(ゼロクラブ、ゼロの達成)(年次基金1人年間150ドル以上)、ポリオ根絶に向け1人年間30ドル以上。米山記念奨学金1人年間16,000円以上。私も作りましたが、これがロータリーカードです。3,300円ですが、内1,500円がポリオに寄付されます。そして、利用額の0.5%がポリオの方に寄付され、根絶の資金になります。個人、法人、クラブカードもありますが、ぜひ作っていただければと思います。

さて、「ロータリーの原点に戻ろう、そして基本に戻ろう」とよく言われます。ロータリーの原点はどのなのでしょう。それはポール・ハリスが1905年にロータリーを創立したのが原点と考えるべきかなと思っています。ポール・ハリスが初めて日本に来た際、「あなたはどのようにしてロータリーを作ったのですか？」との質問に対して「さみしかったから」と答えた事は有名な話です。しかし、友情だけの団体ではこれほど大きくはならなかったでしょう。同時に、友情を大事にしなければ、これほどの大発展にはならなかったでしょう。ポール・ハリスは「ロータリーは人間の生き方であり、善意で気取らない健全な、そして親切な生き方である。」そしてまた、四つのテストを説いたハーバート・テラーは「ロータリーは友情を作り、人を作る」

ガバナー公式訪問



と言いました。ロータリーは生き方を学ぶ場所でありたい。そして生き方には定年はありません。もちろんロータリーの原点については、1915年の道徳律、職業倫理論、そして1927年の四大奉仕の分割、あるいは1923年に採択された、決議2334を主張する方もいらっしゃいます。

近年ロータリーの柔軟性・革新性が言われます。私の方針である守・破・離の“守”がしっかりと守られていなければ、柔軟性・革新性を捉えても地に足の付いたクラブにはなりません。ロータリーにおける“守”とは、ロータリーの目的、行動規範、四つのテスト、五大奉仕、中核的価値観、そして、なによりロータリーのブランドを守ってきた我々ロータリアンの力、そしてロータリアンの誇り、これが大事だと思います。あなたのクラブが良い状態ならば変える必要はない。将来に向けて問題があるならば変えるべきである。但し、ロータリーの親睦と奉仕は変わらない。クラブの会員基盤をより強くしていただいて、新型コロナに対しても対応できるクラブ細則をなども検討していただければと思っております。

ボルガー・クナーク会長より、4つの伝達事項の事を言われてきています。①新しい革新的なクラブモデルを作る事で参加者の基盤を開く、衛星クラブや地区を基盤としたロータアクトクラブの立ち上げ。②戦略会議の開催、少なくとも年1回以上の戦略会議を開き、クラブの5年後はどのようなクラブになっているか、そしてなるべきなのか、またビジョンを達成するためにどのようなステップを踏むべきなのか、そし

て会員はどのような価値を得る事が出来るのかを検討してみましょう。そして新会員は注意して選びましょう。新会員にとって期待に応えるクラブである事、新会員の面倒を見て積極的な参加を促す。ロータリアンになるのに年齢は関係ありません。④ポリオ根絶のための寄付、これからも根絶活動への支援、我々は世界の子供達と交わした約束を守らなければなりません。

最後に、「新型コロナは、ロータリーをさらに強くするチャンス」の話をさせていただきます。回復力とは逆境に於いて、その状況に適応していくプロセスの事です。人間は衝撃的な出来事や、ストレスの強い場面に直面すると、脳が多数の神経経路を活性化させ、人体を守る仕組みになっています。このような生物学的プロセスによって私達は健康を保っています。そして人はこのような出来事を乗り越える事で、成長して変っていく事が出来るのです。現在、多くの人がコロナウイルスのパンデミックという現実直面しながら日々を送っています。幸いな事に回復力を大きくする方法がいくつかあります。まずは繋がる。回復力を養う上で大切な要素の一つは単純に人と繋がる事です。まずは仲間のロータリアンと連絡を取ってみましょう。電話で話したりメッセージを送ったり、会員がオンライン例会で参加できるようにするのも良いでしょう。各クラブもロータリーというグローバルなネットワークを各会員が取り組めるように、他のクラブともつながる事も検討しましょう。対局を見る。人は逆境が続くと、希望を失ってしまいます。だからこそ現実を見つめポジティ



第6回 8月19日(水) 天候/晴

ぶな思考を持ち続けられるように仲間を励まし
 ましょう。ロータリークラブは現在、例会を新
 しい形式に適用する必要に迫られ、また会員増
 強など困難な事に直面しています。しかし、こ
 の困難は将来に影を落とすものではありません。
 私達の将来はこの難局をどう乗り越えるかにか
 かっているのです。そして健康を保つ。こんな
 今だから、仲間の会員と一緒に健康増進、健康
 第一を心がけましょう。休息が必要な人や例会
 に出席できない人、メールの返信にも何日も掛
 かってしまう人も優しく対応してあげましょう。
 点数争いや貢献度を争うような時ではありませ
 ん。優しさをもって耳を傾けましょう。そして
 目的を持つ。人を元気づけると自分自身も癒さ
 れます。そうする事で自尊心が磨かれ、目的意
 識や人の気持ちを汲み取る事や心も芽生えてき
 ます。まずは実行可能な、達成可能な、奉仕活
 動を仲間と一緒に計画してみたいかがでしょ
 う。最後に感謝する。やはり人が感謝する気持
 ちで心で受け止め、意識的に考える事で力を得
 ています。ほんの少しだけ時間を取って仲間に

感謝し、地域社会やパートナーに感謝の気持ち
 を示す機会を作りましょう。皆がお互いに気遣
 う事が出来れば、回復力を養い、育むための道
 を切り開く事が出来ます。このような努力を組
 織レベルで拡大する事で、ロータリーの新しい
 潜在能力が解き放され、クラブの強化、そして
 会員体験の向上に繋がります。世界は今、回復
 力・適応力、そして強さを兼ね備えたロータリ
 アン、ロータリークラブを必要としています。
 お互いを思いやる気持ちは大切ですが、自分自
 身を気遣う事を忘れないで下さい。貴方自身も
 大きな回復力を備えた最高の自分になるべき存
 在なのです。とされています。まさに繋がる
 対局を見る、健康を保つ、目的を持つ、感謝す
 るを大切にしていかなければと思っております。
 留萌ロータリークラブの皆さんにおかれまして
 も、会員の皆さんの健康第一にそしてますます
 のご活躍をご祈念申し上げます。

「ロータリー・オブ・オプチュニティズ」

ロータリーは希望の扉を開くです。どうもあ
 りがとうございまそた。

プログラム

(第7号・第8号)合併号

- 本日

来賓卓話

留萌市地域戦略担当理事 渡辺 稔之氏

結婚記念日

田 中 美智子

大 嶋 孝 広

- 次週予定

「スポーツの秋 特別企画」

RYT200ヨガイストラクター 谷 雅子氏

No. 2873

第8回 9月2日

出席報告

前
例
会

会員総数.....27名
 出免会員.....3名
 出免出席.....3名
 基準会員出席.....16名
 出席率..... 70.37%

前
々
会

第6回 8月19日

欠席会員.....3名
 内メイクアップ.....0名
 修正出席率..... 88.88%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F



会長報告

1. 8月20日13時より、留萌市中央公民館にて
 令和2年度留萌市平和祈念式典に出席して来
 ました。ソーシャルディスタンスの中、厳か
 に執り行われた事を報告いたします。
2. 8月27日18時30分より、理事役員会を開催
 いたします。出席義務者の皆さんはよろしく

お願いします。



幹事報告

- 芦別RCより7月8月会報を受領しました。
- 国際ロータリー第2510地区福井ガバナーより
 ガバナー公式訪問の礼状をいただきました。



ニコニコBOX……………

- 先週は大変お世話になりました。ありがとうございます。本日は対馬さんよろしくお願ひします。 辻本会長
- 初めての夜間例会です。楽しみです。 西原会員

前 回	227,000円
今 回	7,000円
累 計	234,000円



プログラム……………

「会員増強について」

例会運営委員会 対馬 委員長

地区の増強セミナーにて話された事を要約して話させていただきます。最近の増強については昔と変わってきております。今年度の地区増強委員長は武部パストガバナーで、かなり癖のある方なので色々物議を醸し出す方ですが、まずは基本のお話をさせていただきます。

ロータリーの会員増強については、勿論増強として数を増やす事ですか、質を高める事、そして特に大切なのは会員の維持。せっかく入った会員を辞めないようにするという事です。クラブ会員の退会を防ぐことが会員増強にとって最初にする事だと言われております。そして今回2019年度の規定審議会で、会員の身分の変更がなされました。公職についている方でも正会員になれるという事で、例えば、留萌市長がロータリアンになる事が出来るようになりました。ロータリーは本来、職業人の集まりとして結成されましたが、クラブは必ずしも職業人中心でなくても良い事になりました。例えば町内会長さんの肩書で入会する事も出来ます。ロータリアンの奥さんでも入れます。職業分類も従来は1業種1名となっておりましたが、それが会員の制限が5名、10%となり、会員数の制限の撤廃が決まりました。つまり何人でもOKとなりました。

今現在クラブが直面している問題として、会員の減少、入会候補者がいない、例会出席率が悪い、例会委員会のマンネリ化、公共イメージ

認知度の低さ、ロータリーへの理解不足。そもそもロータリーは職業奉仕をする人の集まりとして発展してきた会であり、ライオンズのように皆で集まってお金を出し合って色々なものを寄贈したりすることが主ではなく、職業を通じて奉仕をする人々が集まり、例会を通じて自己研鑽する会です。どちらかと言うと派手さが無い会で、ライオンズとは考え方が少し違う組織です。ロータリーは派手さはないが地道な活動で、世界からのポリオ廃絶を願い、毎年何百億ものお金をかけています。アフリカはポリオを撲滅しましたし、ほぼ99%世界からポリオを無くしておりますが、まだ紛争地域であるアフガニスタンなどではワクチンの接種が出来ない状態で、患者が一部残っております。活動を止めると患者がまた大きく広がりますので、地球上から完全にポリオが無くなるまで、活動を続ける事になっております。

増強と退会防止についての一般的方策として、会長や増強委員長、歴代会長の意気込み、やる気が大切で、会長になる方が特に頑張る入会を勧めますが、なかなかそれも長続きはしませんので、やはり会員全員で会員増強に携わる気持ちが大切であるとの事です。今現在、世界のロータリークラブ1クラブの平均会員が33名となっております。第1グループは今まで世界の平均を上回っておりましたが、最近では退会者が増えて平均を少し下回ってしまいました。何人が適正かという問題は各クラブの考え方によりますが、留萌もかつて100名を大きく上回っておりましたが、その時はクラブを半分に分けるなどの考えもありますし、クラブの適正人数も何人か分かりません。現在、札幌のクラブでも留萌クラブより小さなクラブもあります。20名位のクラブや10数名のクラブもあります。世界には1人でロータリーをやっている方もおられます。人数が全てではありませんが、留萌クラブの以前は100数名でやっていたが、やはり人数が少なくなると活力の低下がうかがわれます。クラブを30名でずっと活動を続けているとあまり感じませんが、やはり活発だったところの記憶がある人は考える処があります。来年留萌クラブは60周年を迎えます。何とか30名を超える会員を集め、活力ある活動をする事を望みます。

第7回 8月26日(水) 天候/曇

やはり世界平均の33名は欲しいと私自身は思っております。それには会員の候補者の情報を皆で収集をしながら整理をしていければと思います。今までどういう方をお願いして、どういう方に断られたか、断られた原因は何なのかなど、色々な分析をして情報を整理していかなければなりません。10年間毎年アタックして断られている方に、また今年もアタックしても時間の無駄ですので、むしろ新しい人を見つけてアタックする方が入会が高まると思います。そうなることややはり若い会員、女性会員を多くターゲットとして見つける事が重要です。

また、退会者の防止で、退会の理由、なぜ退会したのか理由を分析する事とロータリーを会員に理解させる事。また、新しい会員さんには皆さんでフォローをして辞めにくい雰囲気というか、ロータリーの仲間意識を強めて、ロータリーの例会や活動に参加する事が楽しいと思ってもらうのが重要だと思います。今現在、会長、増強委員長をお願いして増強を図っている現状ですが、これからは若手の力を借り、若い会員の獲得も考えるべきだと思っております。また留萌クラブは女性会員が4名と女性が多くなってきていますが、世界を見ればガバナーになる女性会員も多数おりますので、これからは男性、女性と言わなくてもよいのではと思っています。留萌クラブで女性会員を入会させた時の会長が私で、私がガバナー補佐をやっていた頃は、当時2510地区には6名の会長さんがおられました。国内ではガバナーをやっている女性の方も多くいられましたし、世界的にも女性ガバナーは増えております。私達のクラブでも女性会員15%を最低ラインにして会員増強を進めたいと思います。

それと、武部委員長が言っている事ですが、歳は私より1~2歳上の方で、その方曰く、私と同じ有力者と言われる方は8時~9時には寝ているのです。30代・40代・50代に期待して、若い会員の友人の入会がクラブ活性化とクラブ若返りにつながると言われております。右を見て左を見て同じような肩書を持つ方ばかりが会員候補ではありません。それと、全会員から賛成を貰わなければ入会が認められないという上から目線では会員は増えやしません。入会条件

の厳しい垣根を取り除き、やんちゃな青年たちに目を向けるべきです、と言っております。これはあくまで武部増強委員長が言った言葉です。私達にもやんちゃな時代がありました。問題意識をもっているから、やんちゃに見えるんだと思います。やんちゃがでなければ活性化は期待できないと思います。入会条件は理事会多数決で十分だと言っています。武部さんはお兄さんが自民党の幹事長をされた方で、私も商売上痛い目にあった事がございます。建築設計を主としてやっておりましたが、ある時設計屋さんに油の取引をお願いした所、君の所は武部議員の所に献金をしているかと聞かれ、その時は武部さんは選挙区外でしたので、献金なんてしたことがございませでしたので、してないと言うと出直してこいと言う方でした。今はだいぶん丸くなったと思います。ロータリーに対しても改革を考え、例えば第1グループのクラブが4クラブしかないの、第2グループと合併させようとしたり、IMを合同で開催し、またガバナーもその中から出すようにすると言う、私も賛成票を入れましたが、事実上とん挫してしまいました。

最後になりますが、「入会を勧誘する人をイメージしてください」との事で、「貴方の地域で信頼している人を思い出して下さい。貴方の取引先を想像して適任者を探し出して下さい。会員同士の共通の知り合いであれば、一人より二人で誘うのがベスト。同じ趣味や同業の組合や協会の仲間はいませんか。友人のご子息や後継者はいませんか。現役を退いても元気にしている方はいませんか。色々な方面で新会員を探す努力をして下さい。努力は報われます。皆さん頑張ってください」との事でした。